

米原歴史文化街道

米原市の歴史・文化財を歩く ①77

米原駅開業135周年

— 春照駅開業秘話 —

米原駅開業135周年

令和6年(2024年)の今年、米原駅が開業した明治22年(1889年)から数えて135年目となります。滋賀県唯一の新幹線停車駅であり、東海道本線と北陸本線の分岐点である米原駅は、明治時代から続く鉄道の要衝です。

さて、米原駅は市内で現存する駅としては最古の駅ですが、米原駅より早く市内で開業した駅があります。その駅は、明治16年(1883年)に開業し、明治22年までのわずか6年間しか存在しなかった「春照駅」です。

鉄道黎明期の動静と中山道ルート

日本の鉄道は、明治5年(1872年)に新橋―横浜間の開業が始まりですが、開業に先立って明治2年に政府では幹線として東京―京都間、支線のひとつとして琵琶湖―敦賀間の建設が決定します。この時、線路は東海道ルートではなく中山道ルートが考えられており、測量調査が進められました。市内でも明治8年5月に柏原で鉄道測量が行われた記録があり(『柏原宿萬留帳調査報告書八』)、着々と

鉄道敷設の準備が進められていました。

つまり、当初の計画では春照駅が設置される予定はありませんでした。春照は、関ヶ原宿と木之本宿を結ぶ北国脇往還の宿場町として栄えましたが、中山道からは北に大きく外れています。なぜ春照駅が設置されたのか。国立公文書館に収蔵された資料から、その経緯を探ってみたいと思います。

春照駅の設置と廃止

建設を進めていた工部省が、明治15年4月に提出した上申書には、「初め米原―敦賀間の開通を進めていたが、柳ヶ瀬トンネル(滋賀・福井県境)の工事が1年経っても完了せず、費用もかさんでいる。

まずは、長浜から関ヶ原を結ぶ線路を作り、長浜からは船で連絡するように変更したい」とあり、また「長浜から関ヶ原へ向かう線路を敷設することは容易で、大衆にとって利益である」とあります。柳ヶ瀬トンネルは、全長1352mあり、当時、日本最長のトンネルでした。まだまだ土木技術が未熟で、トンネル工事が終わらず、早期の鉄道開通のためにも、米原駅開

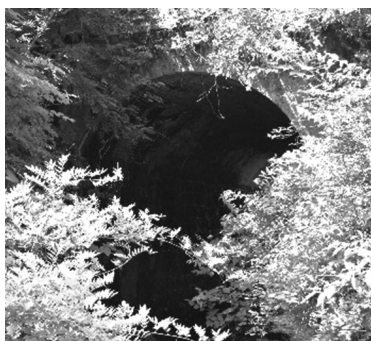
業を諦め、長浜―関ヶ原間の開業に変更しました。ちなみに、柳ヶ瀬トンネルは、明治17年から運行が開始されます。

この経路変更によって、明治16年5月に、長浜駅―関ヶ原駅の線路と、その中間駅として春照駅が開業します。この時の線路は、関ヶ原から現在の国道365号を通り、長浜市東上坂の交差点辺りから県道37号に進み、長浜駅に至るルートです。大野木から村居田に至る国道の直線は、鉄道線路であった名残りです。春照駅は、大野木から関ヶ原にかけて存在する坂道を越えるため、石炭や水の補給地点として設置されたと考えられます。

その後、明治22年、京都―米原―関ヶ原の開通によって、線形に問題のあった長浜―春照間と春照駅が廃止され、米原駅と近江長岡駅が誕生し、東京と大阪を結ぶ東海道本線が全通します。

現在でも、藤川や大野木付近では、線路が川などをまたぐために作られたレンガ造りのトンネルが残されており、鉄道黎明期の貴重な遺産と言えます。

(生涯学習課文化財保存活用推進室)



藤川に残るレンガ造りのトンネル

消費生活相談コーナー

生前整理 デジタル遺品リストを作りましょう

亡くなった夫が動画サイトの有料会員になっていた。パスワードが分からないので解約できない。

消費生活相談員より一言



スマホ等に保存した写真やネット銀行の口座情報等は、ログインしなければ実態が掴めず、これらは持ち主の死後「デジタル遺品」となります。もしもの時に遺された人々のため、パスワード等の情報をノート等に記しておきましょう。

※出典:国民生活センター「生前整理 デジタル遺品リストを作りましょう(PDF)」より

「おかしいな」と思ったら、一人で悩まず、まずは消費生活相談窓口へご相談ください。

市 消費生活相談窓口(本庁舎)
相談専用 ☎53-5110
(受付) 平日 9時30分~16時

米原警察署情報

📍 米原警察署 ☎52-0110

指名手配の犯人の 発見・逮捕にご協力ください

11月は全国の警察を挙げて指名手配犯の追跡捜査を強化します。指名手配犯の発見・検挙には、皆さまのご協力が欠かせません。「よく似た人を見た」「不審な人がいる」といった情報は、どんな些細なことでも構いませんので、警察に通報して頂くようご協力をお願いします。



令和6年市内交通事故数(9月末時点)

件数 39件(-4件) 死者 1人(-1人)
傷者 57人(-2人) ※()内は前年比